

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 藤岡市立日野小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒375-0045
群馬県藤岡市金井658番地

E-mail : f-hinosyo@school.gsn.ed.jp

Website : http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010009

児童生徒数：男子 24 名 女子 19 名 合計 43 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、環境教育の目標を「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」として活動してきた。特色としては、草花・野菜の栽培活動やカワニナ・ヤマメの飼育活動を通して、生命や自然を大切にする態度を養うとともに、省エネ活動やホタルの里づくりを通して、地域に働きかける活動を推進することにより環境保全に寄与する態度を養うことである。

○年間活動

実施月	実施内容
5月	稚鮎の放流と河川清掃（地域清掃）
6月	「日野ホタル祭」への参加（ホタルの里づくり）
	サルビア苗の花壇への定植、グリーンカーテンの設置（花の学舎づくり）
	クリーン作戦①（地域清掃）
7月	関係施設・地域へのサルビアの苗配布（花の宅急便）
8月	クリーン作戦②（地域清掃）
9月	地域高齢者へのパンジーの苗配布（花の宅急便）
11月	パンジー苗の花壇への定植（花の学舎づくり）
12～3月	ヤマメのふ化・飼育、地域の鮎川への放流
通年	ホタルの餌となるカワニナの飼育・放流（ホタルの里づくり）
通年	自然エネルギーを利用した水槽の管理（太陽光・風力）
通年	紙のリサイクル、アルミ缶等有価物回収

※ 県道沿いの皇帝ダリアの栽培・管理は、児童数減少・主活動を時間外活動としたため、活動を地域ボランティアに移行

○活動内容

①稚鮎の放流と河川清掃・クリーン作戦（地域清掃）

藤岡市観光課・烏川漁協の協力を得て、稚鮎を地域の鮎川3カ所で放流する。その後、鮎の住みやすい環境作りのため、河川清掃を実施し、「小さな命をいたわる心」「自然・地域を愛する心」「豊かな自然を有する故郷を誇りに思う心」を育成している。

②「日野ホタル祭」への参加、カワニナの飼育・放流（ホタルの育成）

地域の自然保護団体「日野ホタルの会」と連携した「ホタルの育成」を通して環境教育を推進するとともに、地域の鮎川にホタルを呼び戻す活動を続けている。本校は、ホタルの幼虫の餌となるカワニナの飼育・放流を行っている。「日野ホタル祭」では、児童の自由研究（「ホタルの秘密」「藤岡カルタ」）の成果や環境教育（「稚鮎の放流」「河川清掃・地域清掃活動」「カワニナの飼育・放流」「ヤマメの飼育・放流」）実態・成果について発表し、環境問題への啓発活動を行った。4年生以上の児童が発表に向けて5月から準備を進め、PCソフトを用いて発表原稿を作成し、発表した。

③サルビアの苗・パンジーの苗の配布（花の宅急便）

学校で育てた花苗を関係施設・高齢者に届ける活動を通して、教育活動への支援施設や地域の高齢者への「感謝の心」と「敬う心」を育成している。今年度は、人権の花としてマリーゴールドの種を大量にいただいたので、マリーゴールドも育てて、届けた。

④ヤマメのふ化・飼育、放流

ヤマメの卵を県水産試験場から譲り受け、全校児童で水槽を担当し、ふ化・飼育、放流までを行うことで、協力・自主性・責任感や小さな命をいたわる心、自然を愛する心を育成し、地域の鮎川を生命豊かな川に戻すため、毎年行っている。

⑤自然エネルギーを利用した水槽の管理（太陽光・風力）

本校の屋上には、鮎川に沿って吹く日野谷の風を利用した3機の風力発電設備（600W）と太陽光発電設備（450W）が設置されている。バッテリーを購入し、カワナ飼育水槽の水を循環させるポンプや金魚水槽濾過器の電源として利用することで、エネルギー学習から環境学習につなげている。

また、省エネ活動として、牛乳パックのリサイクル、古紙・アルミ缶回収、グリーンカーテンの設置なども設置している。グリーンカーテンで扱う、アサガオ、フウセンカズラ、ヘチマなどの種は、次年度の生活科や理科の教材として引き継ぐことにより、命を繋ぐ指導にもかかわっている。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）